

2005年7月29日

## ePHDS委員会への参加ご案内

ePHDS委員会  
代表幹事

5月24日の日本PACS研究会総会、IS&C委員会総会において、従来のIS&C委員会を改め、下記のとおりePHDS委員会とすることが決定されました。

これに伴い、新たに委員会WG募集を行いますので、会員の皆様におかれましては、本会の趣旨にご賛同いただき、是非ともご参加いただきたいと思います。参加につきましては、添付の申込書を、メールあるいはFAXで以下までご送付ください。

送信先：(財)医療情報システム開発センター 研究開発部 益田宛

メール：emasuda@medis.or.jp

FAX：03-5805-8211

## ePHDS委員会

**“enhanced Personal Health Document Sharing system  
committee”： ePHDS committee**

**「個人健康情報連携システム 委員会」**

### 目的

医療機関間の個人健康情報の統合を主なテーマに標準化問題を検討します。標準化にはワークフロー面、コンテンツ面、インフラ面とあるが、主にインフラ面、コンテンツ面を中心に進めます。従来より進めてきたセキュリティインフラに関わるテーマ、多機能ICチップによるセキュリティ基盤の確保、電子保存、心電波形の取り扱い、などに加えて、施設を越えた医療情報（画像情報を含む医療情報全般：注）参照）の連携、すなわち人の一生にわたる医療情報

の共有のあり方について、先行するIHEのITインフラ統合プロフィールを参考にしつつ、わが国における望ましい標準の姿について検討を進めていきます。従来のIS&C活動の特長である、技術指向（標準関わる技術問題の解決）、一ベンダではできないテーマの検討、行政への働きかけ、セキュリティ基盤に関わる運用と技術の整合性の検討、工業会では扱っていないテーマや工業会横断的なテーマの検討、新規テーマの自由な提案、異なった分野のベンダの参加による検討、有識者の協力、などの点は引き続き維持していきます。

注) 日本PACS研究会の規約変更（画像情報以外を加えました）

本研究会は、個人の健康に関する文字、波形、画像データなどを活用するための情報システムについて、その標準化の研究と普及推進を目的とする。

委員会名称変更に伴い、以下のようにグループの編成を変更します。  
編成に伴い、メンバーは再募集します。

ePHDS 委員会（旧 IS&C 委員会） 委員長：大山永昭（東京工業大学）

ePHDS 委員会 幹事会（旧 IS&C 委員会 幹事会）代表幹事：細羽 実（京都医療技術短期大学）

委員会に以下のワーキンググループ、サブグループ、及びスタディグループを置きます。WG-○、SG-○が今回募集を行うワーキンググループ、及びスタディグループです。

WG 1 個人健康情報連携システムの検討（新）

WG 2 セキュリティインフラの標準化検討

WG 2-1 多機能ICチップによるセキュアインフラの検討（旧 WG17）

WG 3 医療情報の安全な保管システム

WG 3-1 セキュアDB（旧 WG16）

WG 4 コンテンツの標準化

WG 4-1 心電図、脳波などの波形の標準化（旧 WG2-3, 2-4）

SG 1 医療分野の情報化の現状調査（旧 WG13）

SG 2 最新医療情報分野の勉強会 都度ご案内します。

## WG 1 個人健康情報連携システムの検討 (新規)

新規に立ち上がるWGです。IHE の施設間における医療情報共有・統合プロファイルなどを中心に、地域情報連携の標準的枠組みを検討します。IHE-J 委員会の WG とも連動して進める予定です。

施設間の医療情報共有(IHE インフラストラクチャ統合プロファイル)とは：

IHE の XDS (Cross-Enterprise Document Sharing) 統合プロファイルとは、長期に、かつ広域に渡って、多くの医療機関にかかる患者の情報をどのように連携し、医療の継続性を確保する標準化ソリューションです。EHR (Electric Health Record) の普及が進みつつある米国では、EHR-CR (Care-delivery Record) と呼ばれる各医療施設内での電子カルテ (医療情報) と、生涯にわたる電子カルテを EHR-LR (Longitudinal Record) と呼んで、2つに分けてとらえています。患者は、長期にわたっていくつもの医療機関、介護施設にかかることとなりますが、XDS では、それぞれの施設で発生する医療情報の台帳登録を行う仕組みがつけられています。台帳登録をすると、別の医療機関からでも医療文書がどこにあるかがわかり、容易にアクセスができるようになります。診療に関わる情報の集合は、構造化されていない場合 (単純なテキスト)、構造化されている場合 (HL7-CDA (Clinical Document Architecture) Release1)、あるいは画像 (DICOM) などの場合もありますが、これらの最小文書単位を XDS 文書と呼んでいます。これは、施設間で共有される患者記録となっており、発行源となる施設ごとの IT システム (電子カルテシステムなど) の中に存在しているものです。同じ発行源における医師が、関連する協力者に対して利用を認めた患者に関する XDS 文書のあつまりを XDS 投稿セット (Submission Set) と呼びます。また XDS フォルダという目的ごとに XDS 文書をグループ化する手段も提供されている。たとえば、複数の医師の間でチーム医療を行う場合や、患者の救急情報などの場合です。XDS は協力関係にある医師に対してオープンにされることが前提となります。医療情報アクセスや、患者情報アクセス、患者 ID の相互参照、医療機関スタッフの属性情報取得などの各統合プロファイルを複合して用いることにより、安全に確実に医療情報のやりとりが期待できます。XDS の枠組みは医療機関間の医療情報の連携手段として極めて有用であり、日本においても臨床現場に合わせて詳細な検討を必要とするテーマのひとつです。

また、オンラインで医療連携を行う方法だけでなく、オフラインで医療連携を行う PDI (Portable Data for Imaging) も IHE では提案されていますので、こちらも検討の対象とします。

## WG 2 セキュリティインフラの標準化検討

### WG 2-1 多機能ICチップによるセキュアインフラの検討

(主査：細羽 実 (京都医療技術短期大学))

平成16年度のWG17での活動に引き続いて、セキュアインフラとしての多機能ICチップの利用と標準化をテーマに、院外、院内をシームレスにつなぐ安全な仕組みの検討を進めていきます。DICOM、HL7を用いた実装ガイドラインであるIHEの活動ではセキュアインフラの仕組みも提案されています。このような国際的な標準化の流れと多機能ICチップの関連を明らかにしていく必要があります。同時に、工業会などによるセキュリティインフラの標準化アクティビティについても、状況を把握する必要があります。また2月4日に発足した保健医療福祉情報セキュアネットワーク基盤普及促進コンソーシアムとの連携を検討していきます。

活動回数は年間9回程度とします。

昨年度は、多機能ICチップによる2階層PKIを用いたセキュリティの標準化をテーマに専門家を招いて、勉強会を開催しました。オンデマンドVPNへの応用、セキュアなりモートサービスへの応用が実験的に行われている状況がわかりました。多機能ICチップがマルチアプリに対応可能な特徴を用いて、様々なサービスを展開できる可能性を理解が進みました。

第1回 日時：2004年9月22日(水) 10:00~12:00

東京工業大学 喜多教授「平成15年度多機能ICチップの調査事業」

第2回 日時：2004年11月4日(木) 15:00~17:00

NTTデータ 高橋氏、菅野氏「多機能ICチップを用いたオンデマンドVPNへの取り組み」

第3回 日時：2004年12月17日(金) 14:00~17:00

議題：多機能ICチップを用いたユースケースの検討

第4回 日時：2005年1月20日(木) 14:00~17:00

NTTコミュニケーションズ 曾我氏「多機能ICチップを用いたセキュアなりモートサービスへの取り組み」

第5回 日時：2005年3月7日(月) 15:00~17:00

議題：多機能ICチップを用いたユースケースの検討

第6回 日時：2005年4月19日(火) 13:00~15:00

MEDIS-DC 町田氏「平成16年度 経済産業省相互運用性事業への取り組み：標準的セキュリティ基盤の実証実験の現状」

## WG 3 医療情報の安全な保管システム

### WG 3 - 1 セキュアDB

(主査：喜多紘一(東京工業大学))

2003年、2004年度の活動で得られたガイドライン及び実装事例で示す真正性確保技術の標準化を推進することを目的として、

- ① 医療情報システム環境でのデータベースを評価対象とした標準 PP を選定する。ここで選定する PP はセキュリティ要件を定めた国際的セキュリティ評価基準である ISO15408 (Common Criteria) に準拠したものとします。
- ② 2004年度活動で得られたガイドライン実装事例を対象として、①で選定した標準 PP を参照し、ST を作成します。

なお、活動の結果得られる標準 PP および事例としての ST は、今後医療システムベンダが作成する ST の雛形となります。

注) PP : プロテクション・プロファイル(セキュリティ要求仕様書)

ST : セキュリティ・ターゲット (セキュリティ設計仕様書)

活動回数は年間 9 回を予定。

昨年度は、医療情報電子保存システムにおける原本性確保の要件の 3 基準(真正性、見読性、保存性)の中で最も技術的対応が要求される真正性確保の課題について

- ① 2003年度の活動の結果、最新の技術により通常のコンピュータシステムを用いて真正性を確保できる見通しが得られ、2004年2月「汎用 RDBMS および OS を用いた小規模医療施設向け診療情報電子保存システムの真正性確保のためのガイドライン」として検討結果をまとめました。
- ② 2004年度には、上記ガイドラインに示される要件を満たす製品への適用を進め、2005年4月「調剤・薬局用電子薬歴システムでの真正性保証事例」としてガイドラインに則り製品に組み込んだ事例の紹介を実施しました。

## WG 4 コンテンツの標準化

### WG 4 – 1 心電図、脳波などの波形の標準化

(主査：平井正明 (日本光電))

MFER の脳波バージョンを完成します。本年度も MFER 委員会と連携して以下のイベントでの規格案の発表を行います。

- ・ホルター研究会
- ・HL7 国際支部会議 (台湾)
- ・心電学会・臨床検査医学会

また、ISO/TC215/WG2/SWG1 の活動として最終原案を作り、TS (技術仕様書) として ISO 規格とすることを推し進めます。

昨年度は、連携している MFER 委員会として以下の学会、イベントで規格のデモ発表などを行いました。

- ・日本循環器学会
- ・遠隔治療研究会
- ・心電学
- ・心電情報処理ワークショップ
- ・医療情報学会でワークショップ

また、IS&C 規格として HELICS への提案を行いました。ISO/TC215 へ ISO 規格として NWIP となりました。

## SG1 医療分野の情報化の現状調査

(主査：安藤 裕 (放射線医学総合研究所) )

個人の健康・医療情報を一元化して、保管・管理する方法を、医療施設の見学を通じて共通の認識としてとらえる活動を行います。そのため、見学会を年2-3回開催し、セキュリティや個人情報保護などの面も含め、医療情報の保存する方法の認識を深めます。今年度、予定している医療機関は、以下の施設などです。

- ・岐阜大学医学部附属病院
- ・癌研有明病院
- ・埼玉医大病院
- ・放医研重粒子医科学センター病院

## SG2 最新医療情報分野の勉強会 (都度ご参加ください)

(主査：岡峯成範 (日立製作所) )

健康医療分野に活用できる IT インフラやセキュリティの技術や動向に関して、タイムリーなトピックスを選定し勉強会を開催します。10月と1月の2回開催を予定しています。

昨年度は、最近のトピックスとして、外部電子保存、オンデマンド VPN、ISO15408 のセキュリティ関連の3テーマを取り上げて勉強会を実施しました。

日時：2005年2月17日(木) 13:30-17:00

時間	タイトル	講師
13:00	(受付)	
13:30-14:20	電子保存および外部保存のガイドラインの更新について	三菱電機株式会社 情報セキュリティ推進センター担当課長 茗原秀幸
14:20-14:30	Q&A	
14:30-15:20	e-Key チップを利用したオンデマンド VPN 技術について	株式会社NTTデータ ビジネス開発事業本部モバイル&IC メディアビジネスユニット課長 鎌仲裕久
15:20-15:30	Q&A	
15:30-15:50	(休憩)	
15:50-16:40	「ISO15408：ITセキュリティの国際評価基準」のポイントと動向	みずほ情報総研株式会社 情報セキュリティ評価センター所長 金子浩之
16:40-16:50	Q&A	

## e PHDS委員会WG参加申込書

日付 年 月 日

会社名 \_\_\_\_\_

代表者 所属 \_\_\_\_\_ 役職 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

e-mail address \_\_\_\_\_

参加WG WG 1 WG 2 - 1 WG 3 - 1 WG 4 - 1 SG 1

**WG 1** 個人健康情報連携システムの検討 (新)

WG 2 セキュリティインフラの標準化検討

**WG 2 - 1** 多機能ICチップによるセキュアインフラの検討 (旧 WG17)

WG 3 医療情報の安全な保管システム

**WG 3 - 1** セキュアDB (旧 WG16)

WG 4 コンテンツの標準化

**WG 4 - 1** 心電、脳波などの波形の標準化 (旧 WG2-3,2-4)

**SG 1** 医療分野の情報化の現状調査 (旧 WG13)

SG 2 最新医療情報分野の勉強会 都度ご案内します。

※ 参加希望WG及びSGに ○ を付けてください。

参加者 所属 \_\_\_\_\_ 役職 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

e-mail address \_\_\_\_\_

参加WG WG 1 WG 2 - 1 WG 3 - 1 WG 4 - 1 SG 1

参加者 所属 \_\_\_\_\_ 役職 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

e-mail address \_\_\_\_\_

参加WG WG 1 WG 2 - 1 WG 3 - 1 WG 4 - 1 SG 1

参加者 所属 \_\_\_\_\_ 役職 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

e-mail address \_\_\_\_\_

参加WG WG 1 WG 2 - 1 WG 3 - 1 WG 4 - 1 SG 1